

LIFE

TAC JAPAN 60th Anniversary



Life is like dream



本社 岐阜県大垣市開発町5丁目71番地の1
TEL.0584-81-5260(代) FAX.0584-75-4105
URL <http://www.tacjapan.co.jp> E-mail tac@tacjapan.co.jp

豊橋営業所 愛知県豊橋市大岩町字車田31-1
TEL.0532-41-1080

新潟事務所 新潟県長岡市豊詰町414番地
TEL.0258-22-3239



LIFE

地球——

私たちにとってかけがえのない存在は今温暖化、環境汚染、生物多様性の破壊など待ったなしの問題を抱えています。

畜産業界に限ってみても鳥インフルエンザや狂牛病、口蹄疫などその存続を揺るがす問題が年を追うごとに頻発しています。

これらの問題は、私たちに人間の「あるべき姿は何か？」を問うているのではないのでしょうか？

タックジャパンは、創業から60年目を迎え今一度、「食」という人間の原点に立ち返り皆さまの健康で豊かな人生(=LIFE)づくりをサポートしていきたいと考えています。



60周年を迎えて

平素は格別のお引き立てをいただき心から感謝を申し上げます。この度、創業60周年を迎えることができましたのも、長年、ご愛顧いただきましてきましたお得意先、良きパートナーとしてご協力いただいた仕入先の皆様のお陰であると心から御礼申し上げます。

さて激動する社会情勢、業界を展望した時、弊社を取り巻く環境も、あるべき姿を形容する言葉も変わってきていると実感しております。とりわけお客様のお役に立つためにも、力強く生きるためにも進化を余儀なくされています。今、まさに我々は自らストーリーを描き、自ら演じていかなければならないでしょう。

本年60周年を単なる節目として迎えたくありません。真の豊かさとは何か。真に強い会社とは何か。未来に向けて畜産総合商社としての存在価値を高め、お客様のご要望にお応えできるよう邁進する所存でございます。130年の戦国時代に終止符を打った天下分け目のこの地から、スタッフ一同、心新たに再出発する所存でございます。関係各位の皆様方には変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 高橋 伸輔

■企業理念

人類社会の幸福と発展に貢献します
お客様の繁栄に役立つ価値を創造します
社員の個々の人間性を尊重します

■私たちの目的

会社の繁栄
社員の幸福
取引先の発展
世界平和
環境貢献

■行動十訓

- 一、挑戦せよ 失敗せよ 反省せよ そして勇気を持って
- 一、常に顧客の視点に立て そして期待にこたえよ
- 一、立ち位置を確保せよ その仕事に意義を見いだせ
- 一、変化に対応せよ 常に変革の能動者たれ
- 一、思いやりを持って 感謝 感動 感性を持って
- 一、逆境を乗り越えよ 順境に楽観するな
- 一、常識を疑え 問題意識を持って 本質を見抜け
- 一、夢を持って 夢を与えよ そして人の心に灯をともせ
- 一、結果に執着せよ プロセスに執着せよ 考え方に執着せよ
- 一、あきらめるな 制約条件に制約されるな



3月 食糧配給公団解散と共に、高橋正一個人にて飼料雑穀店を開店。

2月 三津屋営業所、倉庫新設。

6月 直営養鶏場として高橋ポトリーフームを新設。

先代高橋初次郎、米穀商を開業。

1896 明治29年

1951 昭和26年

1963 昭和38年

1966 昭和41年

1968 昭和43年

1969 昭和44年

1970 昭和45年

1971 昭和46年

1972 昭和47年

1975 昭和50年

1978 昭和53年

1979 昭和55年

1980

HISTORY

PART.1 1951—1980

3月 資本金500万円にて法人に改組。株式会社高橋正一商店として飼料、雑穀関連卸業を営む。



11月 直営かしわ店 "チキン一番"開店。



2月 午後8時20分頃、隣家よりの類焼により本社事務所及び倉庫を全焼。(25日)

9月 滋賀県に進出。長浜総合市場内に長浜鶏卵販売所開設。

12月 岐阜中央卸売市場に進出。岐阜茜部鶏卵販売所開設。

7月 滋賀営業所開設。鶏卵GPセンターを併設。

9月 大垣地方卸売市場に進出。大垣鶏卵販売所開設。

*生産から販売まで……(株)高橋正一商店直売

チキン一番

大垣市船町3ノ1 TEL 81-5382



HUMAN STORY ~時代の証言①~

入社時の思い出

飼料畜産事業部 北島 義忠 (S45年2月入社)

私が入社した昭和45年当時、事務所が現在の寺内倉庫にありGPセンターも南側の倉庫で操業していました。現在と異なりプロイラーがメインの取引先で、私は配送の仕事を担当していました。当時は紙袋での取引が多く、また道が狭かったので苦労しました。集卵も木箱やダンボール詰めだったので破卵率が高かったです。豚用の飼料として酒造会社から酒糟を仕入れて農場へ運んだり、牛用の豆皮を貨物列車で

取引をしたり、またプロイラーの出荷の手伝いに深夜作業もしました。当時は少ない人員での仕事のため大変でしたが、その苦労も今となってはいい思い出です。

その後、現会長の英断でプロイラーからレイヤー主体に方針を切り換え、規模拡大のために倉庫は寺内のまま、事務所とGPセンターを三津屋町に移転しました。また、ちょうどその頃に牛の得意先開拓に力を入れ始めました。

HUMAN STORY ~時代の証言④~

厳しいながらも充実した営業活動

加藤 治郎 (S54年5月入社、飼料畜産事業部OB)

昭和54年5月に営業部に入社。厳しい所とは聞いていましたが、朝早くからの鶏卵の配送、飼料の配達、飼料の引き取り、営業活動。夜はGPセンターにて鶏卵のパック詰めと想像以上でした。しかし、辛いとは一度も思いませんでしたし、営業部全体が一枚岩となりやり切っていた感じがします。誰が見ても活気溢れる日々でした。鶏卵配送では大津への納品が思い出深いです。大雪の朝3時に一人で配送していた際に

彦根で立ち往生してしまい、スコップで雪を除去何とか納品。あの時の心細さは今も思い出します。営業では牛の担当からスタート。昔は牛農家が多く、一日25軒以上の訪問も度々ありました。飼料メーカーの新製品のキャンペーンでは、皆さんの協力もあってサンフランシスコ&ロサンゼルスへの研修旅行に選ばれたことも良い思い出です。

1951(S26)年 NHK、テレビ初の実験実況中継(プロ野球放送)。

1952(S27)年 手塚治虫の「鉄腕アトム」連載開始。第15回オリンピックに戦後初参加。

1953(S28)年 中国からの引き揚げ開始。大相撲のテレビ中継が始まる。

1954(S29)年 ビキニ島での米水爆実験で「第五福竜丸」被爆。

1955(S30)年 金華山ロープウェイ開通。自由民主党結成。

1956(S31)年 石原慎太郎「太陽の季節」が芥川賞受賞。金華山に岐阜城再建される。

1957(S32)年 5000円札登場。世界初の人工衛星「スプートニク号」の打上げに成功。

1958(S33)年 1万円札発行。東京タワー完工式。

1959(S34)年 皇太子明仁親王と正田美智子さんと成婚。ソ連の宇宙ロケットが、初の月面到着に成功。

1960(S35)年 ローマオリンピック開催。カラーテレビの本放送が始まる。

1961(S36)年 第2室戸台風。ソ連、初の有人宇宙飛行に成功。

1962(S37)年 東京都、世界初の1000万都市に。

1963(S38)年 米国ケネディ大統領暗殺。智子さんが成婚。

1964(S39)年 名神高速道路が開通。東海道新幹線開通。東京オリンピック開催。

1965(S40)年 岐阜県下で、第20回国体を開催。朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞。

1966(S41)年 ビートルズ日本公演。敬老の日、体育の日スタート。

1967(S42)年 建国記念日スタート。吉田茂元首相が死去。

1971(S46)年 川端康成ノーベル文学賞受賞。3億円事件。

1969(S44)年 東大安田講堂へ機動隊突入。東名高速道路全線開通。米アポロ11号、人類初の月面着陸に成功。

1970(S45)年 大阪万博開催。三島由紀夫、剖腹自殺。

1971(S46)年 ドル・ショック。岐阜県、置県100年記念式典を開催。

1972(S47)年 札幌冬季オリンピック。浅間山荘事件。沖縄返還。

1973(S48)年 オイルショック。江崎玲於奈

ノーベル物理学賞受賞。

1974(S49)年 巨人軍、長島茂雄引退。佐藤栄作ノーベル平和賞を受賞。

1975(S50)年 ベトナム戦争終結。エリザベス女王来日。

1976(S51)年 ロッキード事件。植村直己、北極圏単独犬ソリ横断を達成。

1978(S53)年 植村直己、北極圏に単独到達。成田空港開港。

1979(S54)年 東名日本坂トンネル事故。御岳が有史以来の爆発。

1980(S55)年 モスクワオリンピック不参加を可決。大平首相急死。

HISTORY

PART.2 1981—2010

HUMAN STORY ~時代の証言⑤~

平成時代の業界の動き 常務取締役 児島 恒雄 (S63年4月入社)

平成始め頃の鶏卵業界は、コスト低減のためのウインドレス鶏舎が流行していました。当時のGPセンターでは土足にエプロン、三角巾で作業を行っていましたが、衛生面での対策が要求されるようになってきました。また、コスト低減努力も限界に近く、卵価に左右されない特殊卵による安定収入の確保の動きが出始めてきました。

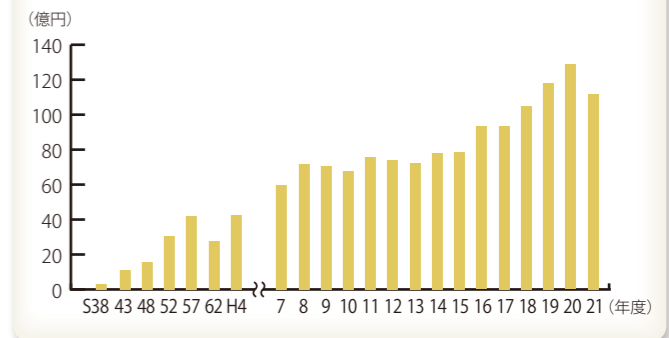
平成10年以降は、販売面ではオーバーストア状態に入り、小売業では淘汰再編期に入り始めました。

生産量はピークに達し卵価は低迷、食品事故の増加に伴い差別化を求め、HACCP、トレサビリティ等の要求も増え、管理・流通コストが増加する中に平成16年に高病原性鳥インフルエンザが発生。大手といえども経営の危機リスクが高まり、生産が急速に抑制されました。

農業・畜産が今後どのように変化していくのか予測するのは難しいと思われませんが、次の世代を担う人は現場の変化に敏感であることが一層求められると思います。

DATA FILE

売上高の推移



1981 4月 名古屋市北部市場内に鶏卵販売所を開設。

1983 昭和58年 3月 事業拡張の為、本社事務所を大垣市開発町へ移転。 11月 資本金1,000万円に増資。

1987 昭和62年 11月 大垣市開発町にて鶏卵加工工場建設。鶏卵調理食品及び冷凍食品の製造・加工・販売を開始。

1988 昭和63年 7月 株式会社タックジャパンに社名変更。

1991 平成3年 2月 本社事務所・液卵工場の新設、並びに鶏卵GPセンターの増設。

1993 平成5年 4月 豊橋営業所の開設。 8月 資本金2,000万円に増資。

1995 平成7年 7月 農業資材課設置。

1997 平成9年 10月 新潟事務所開設。

1999 平成11年 5月 中国GX社とエージェント契約を締結。 9月 システム課設置。

2000 平成12年 9月 資本金3,000万円に増資。

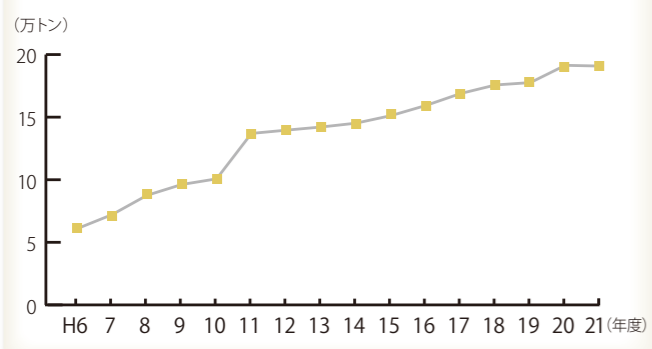
2002 平成14年 10月 HACCP対応GPセンターに増改築。

2004 平成16年

2010 平成22年 株式会社タックジャパン 創業60周年

DATA FILE

飼料販売量の推移



HUMAN STORY ~時代の証言⑥~

CI導入の思い出 (川瀬監査役の談話より)

平成に入り、当社も全国展開をしていこうという矢先、「高橋正一商店」は歴史のある会社ですが、若い人材を募集するときにこの社名では集まりにくいということと、全国に通用するふさわしい名前にしてここで一区切りをつけたらどうだろうかという意見が役員会議で出ました。創業者の高橋正一前会長に話をした所、快諾をもらい現社長を中心に社内募集によって決まったのです。「TAC」のあとに「JAPAN」を付けたことに、当社の全国制覇にかける思いがこもっているのです。

HUMAN STORY ~時代の証言⑦~

祖父の命を見つめて (社長の徒然草 第23章より)

2007年7月14日 土曜日 9時15分頃、営業会議が始まってまもなくその電話がなりました。前日の朝、呼吸が苦しいと病院へ運ばれた祖父の容態が急変したと。病室について、意識のない祖父に何度か呼びかけましたが返事はありません。そのまま、昏睡の末、眠ったまま祖父は天国に旅立っていきました。

私の子どもの頃の記憶は、祖父母と仏間で寝ていたころのセピア色の風景から始まっています。また、5歳くらいの頃、事務所(当時は店と言っていました)や農場に連れていかれ、「お手伝いせい」と言われたこと。テレビを見ていて祖父が帰宅すると、黙ってニュースに換えられても、面と向かって口答えできなかったこと。小学生くらいからは「おまえは跡継ぎだから」ということをよく言われた気がします。初めて跡継ぎという言葉聞いた記憶がこの頃です。その頃から「商売とはなあ」とか「商売人とはなあ」とよく聞かされたものです。戦争の話も聞かされたり本を見せられたり、商売を始めた頃の苦労話も同じ話をよく聞いた覚えがあります。幼い私にとって優しい祖父と寡黙で厳格な祖父の両方が存在していました。近年は、たまに会うと、リビングの椅子に座り「会社はどうや?」「今期の決算はどうや?」「エサはどのくらい売れる?」「みんな元気やでとるか?」ということは毎回にしていました。戦中戦後の動乱の中を生き、この会社を興して半世紀を経た今、祖父は私たちのこれからをどのように見ているのだろうかと思う。人の命には限りがある。父母から祖父母、曾祖父母…。代々辿っていくとどのくらいの人から与えられてこの命があるのだろう。代々受け継がれたこの命を大切に人生を生き、祖父の興したこの会社を、働く者にとって、社会にとってより「良い会社」に育てることが、私を愛してくれた祖父の一番喜ぶことだろう。



- 1981(S56)年 敦賀原子力発電所、放射能漏れ事故。福井謙一ノーベル化学賞受賞。
- 1982(S57)年 ホテルニュージャパニ火災。日航機、羽田沖墜落。新500円硬貨発行。
- 1983(S58)年 ソ連機が大韓航空機を爆破。日本海中部地震。
- 1984(S59)年 グリコ森永事件。1万、5千、千円新札発行。ロサンゼルスオリンピック開幕。
- 1985(S60)年 NTT、日本たばこが発足。日航ジャンボ機墜落。つくば科学万博が開幕。
- 1986(S61)年 米スペースシャトル「チャレンジャー」爆発。ソ連チェルノブイリ原発事故。
- 1987(S62)年 国鉄分割民営化JRに。利根川進ノーベル生理学賞受賞。
- 1988(S63)年 青函トンネル開通。岐阜中部未来博が開幕。ソウルオリンピック開幕。
- 1989(H1)年 昭和天皇崩御。消費税3%スタート。ベルリンの壁が崩壊。
- 1990(H2)年 イラク軍がクウェートを制圧。東西ドイツ統一。
- 1991(H3)年 湾岸戦争勃発。雲仙普賢岳で大規模な火砕流。
- 1992(H4)年 パルセロナオリンピック開幕。エンターで毛利衛が日本人初の宇宙飛行。
- 1993(H5)年 リーグが開幕。徳仁皇太子と、小和田雅子さん御成婚。
- 1994(H6)年 松本サリン事件。大江健三郎ノーベル文学賞受賞。
- 1995(H7)年 阪神・淡路大震災。地下鉄サリン事件。
- 1996(H8)年 アトランタオリンピック開幕。ペルー日本大使公邸事件。
- 1997(H9)年 消費税5%に引き上げ。東海村放射能漏れ事故。
- 1998(H10)年 長野オリンピック開幕。和歌山毒入りカレー事件。
- 1999(H11)年 東海村日本初の臨界事故発生。改正住民基本台帳法が成立。
- 2000(H12)年 シドニーオリンピック開幕。二千円札発行。
- 2001(H13)年 アメリカ同時多発テロ事件。狂牛病。皇太子ご夫妻に第1子誕生。
- 2002(H14)年 日韓共催サッカーワールドカップ。野依良治、田中耕一ノーベル化学賞受賞。小柴昌俊ノーベル物理学賞受賞。
- 2003(H15)年 イラク戦争勃発。米国産牛肉輸入停止。
- 2004(H16)年 アテネオリンピック開幕。新潟県中越地震。
- 2005(H17)年 中部国際空港が開港。愛・地球博が開幕。JR福知山線脱線事故。
- 2006(H18)年 第1回WBCで日本が優勝。秋篠宮紀子さまが男子をご出産。
- 2007(H19)年 年金記録問題。食品偽装問題。郵政民営化がスタート。
- 2008(H20)年 北京オリンピック開幕。中国冷凍ギョーザ事件。リーマンショック。
- 2009(H21)年 マイケル・ジャクソン急死。新型インフルエンザ。裁判員制度。
- 2010(H22)年 トヨタ自動車リコール問題。小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還。
- 2011(H23)年 東日本大震災。

60年に及ぶ会社の歴史のなかで
さまざまな困難にぶつかりながらも
着実に成長してきたタックジャパン。
その成長期の秘話を知る監査役。
これからの歴史をつくる若手社員。
岐阜から全国へ、
全国から世界を視野に入れた
シナリオ～NEXT STEP～は
今、動きはじめた。

「とにかく岐阜県で一番になりたいと、 いつ寝て、いつ起きたのかわからないくらい 働いていました」

□業界ナンバー1を目指して

司会(国枝) まずは監査役に、会社の歴史を振り返っていただきたいと思います。
川瀬(邦) 私が入社したのは昭和44年で、当時は「(株)高橋正一商店」という社名でした。高度成長のまっただ中で、畜産業界もどんどん伸びていましたが、競争も激しかったですね。現会長のもと「ふくろう部隊」というチームで夜間営業をしていました。当時岐阜県下にはたくさんの飼料問屋があり、大手5社がしのぎを削っていました。その中で断トツ

のナンバー1になることが当時の営業マンの念願でした。拡大の足掛かりとなったのは飼料の販売で最初につくった可児営業所でした。その一方で、飼料を売る上で玉子の販売もする必要が出てきたので、滋賀の甲西町に営業所を設け、長浜、大垣、岐阜、名古屋の公設市場に参入しました。近畿方面ははじめ各スーパーさんとお取引はそれ以前(昭和41年頃)からのお付き合いでしたが、お客様の出店とともに成長させていただきました。その当時は、いつ寝て、いつ起きたのかわからない

NEXT STEP

〔座談会〕 未来に夢を託して



くらい働いていました。

司会(国枝) 私も、かつて先輩から大雪の大晦日に配達に向かい正月もトラックの中で過ごしたという話も聞いたことがあります。

栗田 歴史を振り返ると事務的にこなすだけでなく目に見えない信用という大切なことに気付きますね。日常でも急なオーダーがあった時など関係部署に無理をお願いしたりもしますが、お客様に喜んでいただけた時はうれしいですね。

白木 目先の損得だけでは測れない信用こそ大事にしてきた姿勢は、今でも受け継がれていますよね。

高木 私は東海地区の小売店の営業とGPセンターの管理をしています。なかなか生産と販売、物流のバランスを取るの難しいのですが、確実にご要望にお応えすることは

勿論ですし、営業としてもお客様に満足いただけるご提案を心がけています。

川瀬(邦) その後、徐々に体制が整い始めて事業部制を導入したのは、昭和61年頃ですが、それから、しばらくは役職や部門に関係なく忙しい仕事を助け合って業務をこなしていました。ある意味、壁のない商店の風土が生きていました。飼料販売の次の目標は、東海地区ナンバー1になることでした。その為に各県の大手生産者との取引を考え始め、北陸を皮切りに全国へと展開していきました。

高橋(卓) ちょうど全国展開が始まり、しばらくして私は飼料畜産事業部で西日本を担当しました。全国への第1歩という経験できたことは貴重です。お客様と食事をしたり、お酒を飲みながら忌憚なく話していただけた事も信頼関係あったこと。ちょうど、後継者の方々と

年齢も近かったこともあり、大変、可愛がっていただけました。今でも担当業務は違いますが変わらずお付き合いいただいています。

司会(国枝) 平成3年、40周年を機に社名変更をしたCI導入についてお聞きします。

川瀬(邦) 社名は社内公募で決まりました。実は「タック」が内定したのですが、いずれは全国区の念願も込めて、あえて「ジャパン」を加えました。ちなみに、CI委員会は当時課長だった3名、現社長と児島常務、OBの加藤次長が中心になって推進し、この頃から新卒の定期採用が始まりました。あのコーポレートマークは「拡がる未来を見つめる瞳」を表しています。当時としてはかなり斬新なデザインでした。事務所、GPセンターの拡張、液卵工場などハード面が充実してきたことが大きな転機となり今日に至りました。

□存在価値の確立に向けて

司会(国枝) さて、若手の皆様にもお聞きします。ここ10年くらいからお客様のお役に立てる「存在価値」を意識した事業展開がなされてきましたが、その意図についてお聞きします。

川瀬(匡) 私が入社した平成12年に農業資材課が発足しました。平成16年に家畜排せつ物法が施行され、お客様が畜糞の処理に苦慮されていました。そこで今でこそ一般的に言われるようになった耕畜連携。つまり土壌還元する流通を構築したのです。今では大手ホームセンターさんを主に流通量も増えましたが、当初は、徹夜でデリバリーをしていました。とにかくお客様にご迷惑をかけないよう必死でした。

白木 私も入社当時の右も左もわからない中、先輩に連れられて必死に鶏糞の調達先を探しに奔走したことが懐かしい思い出ですね。

高橋(卓) システム課は、平成14年、中国GX社のケージシステム導入を皮切りにスタートし、平成16年5月にGX社と正式にエージェント契約を締結しました。それまでは国内又は欧米のケージシステムが主流で規格品が少なく、そこ

で、第3極として値打ちで品質も良く、お客様の設計ニーズに合うようにご提案しようとしたのがきっかけです。最近ではかなりのお問い合わせもいただいています。当時は日本の生産者の要求が高く、GX社の開発の方々に理解いただくのにかなりの苦労もありました。

川瀬(匡) 今ではケージシステム以外にも、お客様のお役に立てるような備品など、ご提案できるアイテムも増えてきました。

高橋(卓) そうですね。GX社以外でもロールインナーや原卵ラックなど値打ちに調達できる中国での生産工場が確保されてきました。これも長い時間をかけて相互理解してきた賜物と言えます。

司会(国枝) 渡辺さんは飼料の営業事務を経験した後、今は農業資材課のオペレーションでは生産者、物流、ホームセンターをつなぐ仕事に気を使われているのでは？

渡辺 農業資材課に配属になって1年ですが、実のところ最初は右も左も分からずに翻弄したのが正直なところですね。今は常に店舗の受注状況と各生産拠点の在庫状況を把握して、お客様にはご安心してらせていただ

けるようリードタイムには留意しています。特に需要期にはギリギリですが、店舗と生産者の間を配慮しながらお客様第一で考えているつもりです。

司会(国枝) 私も、かつては鶏卵食品事業部の営業で、大手流通業者との本部商談を経験してきました。今は農業資材課のリーダーとしてホームセンターの本部での商談も行いますが、飼料畜産事業部では唯一の小売業の窓口ですのでやり甲斐もありますね。ただ、600店舗を網羅する現場でのデリバリーは日々のサポートが必要なので事務の方のお手伝いには感謝しています。

□時代のイノベーター(変革者)たれ

司会(国枝) 世界人口の増加、資源高騰が取りざたされ、日本では人口減少に歯止めがかけられません。世界、日本の変貌は我々、飼料畜産業界にも変化を促しているようです。では我々の今後の事業領域や我々に求められる役割はなんでしょうか。これからの国内の業界のキーワードは「資源高・人口減・寡占化+TPP」だと社長は言っていますが、

「お客様の考えをいち早くキャッチし、 それに対してどう貢献していくか……」

川瀬(匡) 言い換えれば選別の時代にあります。その中で選別していただける価値を提供できるかどうか。資源高を背景にして考えれば旧来の配合飼料という概念も変わらざるを得ません。当社でも国内はもとより、極東圏での代替原料の調査研究をスタートしていますが、こうした先を見ながら積極的に適応していくことが大事でしょう。このように活動範囲もグローバル化しているが、日本とアジアを結ぶネットワークを生かすことも重要になると思います。

高橋(卓) 人口減少に転ずる国内に関しては消費ありきの時代から、より中身の伴う豊かさを追求していくでしょう。増加する世界人口とは裏腹なだけに、かつて誰も経験したことのない領域ですが、一言で言えばお客様に「究極の満足」をいかにご提示することができるかだと思います。先程、グローバル化の話も出ましたが、大きい視野に立った上で足元の大切

さ、顧客主体という意識は益々重要になると思います。

高木 私は消費者に向けた営業活動が主で、生産サイドとは、あまり接点がなかったのですが、今後は生産者から小売、消費者までご満足していただける取り組みが課題になると思う。それが達成できた時にはタックジャパンの畜産物に対する関わり方も飛躍の為の大きなウエイトを占めるでしょう。

渡辺 先程、消費社会から豊かさの時代と話が出ましたが、経済活動が進展し新しいモノや店舗がずいぶん増えたことにより、ライフスタイルも多様化してきました。しかし、反面、モノを大切にすることも一人の消費者としても考えさせられますね。

栗田 日本は私が生まれた時からモノは豊かですが、心とか大事なものが喪失している気がします。地球上には世界人口の増加や資源高

で飢餓に苦しんでいる人もかなりいると聞きます。限りある食糧資源を有効に使うことも、地球環境の貢献になると思います。

白木 まさに。そうした「地球や人に優しい」という観点を持ちつつ、代替原料を用いた飼料設計など、タックジャパンならではの独自性を発揮していくこと。同時に私自身も、「白木頼む」と言っていただけのような営業マンになりたいと思っています。

川瀬(邦) まだまだ当社が発展する伸びしろはあります。とにかく、お客様が考えている事をいち早くキャッチし、それにどう貢献できるかを絶えず考えていけば、お客様と共に発展できると思います。

司会(国枝) こうして考えると、我社の原動力とはイノベーション(変革)と行動力だと言えますね。これからも、時代のイノベーターであり続けましょう。皆さん、長時間ありがとうございました。いつまでも輝き続けるタックジャパンの未来に夢を託して座談会を終わります。御苦労さまでした。

- ① 川瀬 邦彦さん
昭和44年4月入社
監査役
- ② 高橋 卓哉さん
平成12年7月入社
取締役 鶏卵食品
事業部部長
- ③ 川瀬 匡智さん
平成12年7月入社
取締役 飼料畜産
事業部部長
- ④ 白木 友和さん
平成12年4月入社
飼料畜産事業部
課長
- ⑤ 高木 一也さん
平成11年4月入社
鶏卵食品事業部
リーダー
- ⑥ 国枝 尚徳さん
平成8年4月入社
飼料畜産事業部
リーダー
- ⑦ 渡辺 寿絵さん
平成19年3月入社
飼料畜産事業部
- ⑧ 栗田 美帆さん
平成19年5月入社
鶏卵食品事業部

1951—2010

創業40年で社名変更

畜産飼料の「タック・ジャパン」に
高橋正商店の「タック・ジャパン」に
タックは「TAC」を
「TAC」(タック)と
「JAPAN」(日本)の
頭文字の「TAC JAPAN」
とした。ロゴは四角が
人間のひとみ、三角形が未
来への拡大をイメージし
発明五、高橋社長は七
月一日から社名「タック
ジャパン」に変更する。創
業四十周年を機に新たな飛
躍を、社員から募集して
決めた。



高橋裕社長

畜産飼料と鶏卵販売の高
橋正商店(本社大垣市開
発町五、高橋社長は七
月一日から社名「タック
ジャパン」に変更する。創
業四十周年を機に新たな飛
躍を、社員から募集して
決めた。



タック・ジャパン TAC JAPAN

平成3年6月13日 岐阜新聞

衛生管理面を強化 HACCP導入めざす

【岐阜県】畜産飼料の製造販売を手
掛けるタック・ジャパン(本社大垣市開
発町五)は、衛生管理の徹底を期し、
HACCP(ハセップ)を導入する。HACCP
とは、食品の製造・加工工程において、
衛生管理の徹底を期し、HACCP(ハセ
ップ)を導入する。HACCPとは、食品
の製造・加工工程において、衛生管理
の徹底を期し、HACCP(ハセップ)を
導入する。HACCPとは、食品の製造・
加工工程において、衛生管理の徹底を
期し、HACCP(ハセップ)を導入する。
HACCPとは、食品の製造・加工工程
において、衛生管理の徹底を期し、
HACCP(ハセップ)を導入する。HACCP
とは、食品の製造・加工工程において、
衛生管理の徹底を期し、HACCP(ハセ
ップ)を導入する。HACCPとは、食品
の製造・加工工程において、衛生管理
の徹底を期し、HACCP(ハセップ)を
導入する。HACCPとは、食品の製造・
加工工程において、衛生管理の徹底を
期し、HACCP(ハセップ)を導入する。



衛生管理面を強化した本社工場

平成10年9月16日
中部経済新聞

ケージシステムのノウハウを蓄積したTAC

高橋伸輔社長

ケージシステムのノウハウを蓄積したTAC

高橋伸輔

ケージシステムのノウハウを蓄積したTAC

平成20年2月25日 鶏鳴新聞

ぎふ 経済

タックジャパン

ぎふ企業人

鶏卵でも自然志向に対応

統一ブランドで差別化を狙う

【岐阜県】タック・ジャパン(本社大垣市開
発町五)は、鶏卵の生産・販売に力を入
れ、統一ブランドで差別化を図る。統一
ブランドとは、鶏卵の生産・販売に力
を入れ、統一ブランドで差別化を図る。
統一ブランドとは、鶏卵の生産・販売
に力を入れ、統一ブランドで差別化を
図る。統一ブランドとは、鶏卵の生産
・販売に力を入れ、統一ブランドで差
別化を図る。統一ブランドとは、鶏卵
の生産・販売に力を入れ、統一ブラン
ドで差別化を図る。統一ブランドとは、
鶏卵の生産・販売に力を入れ、統一ブ
ランドで差別化を図る。統一ブランド
とは、鶏卵の生産・販売に力を入れ、
統一ブランドで差別化を図る。統一ブ
ランドとは、鶏卵の生産・販売に力
を入れ、統一ブランドで差別化を図る。



高橋裕社長

平成7年7月23日 岐阜新聞

中国メーカーと提携


国内向けコスト要求に対応

【岐阜県】タック・ジャパン(本社大垣市開
発町五)は、中国メーカーと提携し、
国内向けコスト要求に対応する。中国
メーカーとは、タック・ジャパンと
提携し、国内向けコスト要求に対応
する。中国メーカーとは、タック・ジ
ャパンと提携し、国内向けコスト要
求に対応する。中国メーカーとは、
タック・ジャパンと提携し、国内向け
コスト要求に対応する。中国メーカ
ーとは、タック・ジャパンと提携し、
国内向けコスト要求に対応する。中
国メーカーとは、タック・ジャパンと
提携し、国内向けコスト要求に対応
する。中国メーカーとは、タック・ジ
ャパンと提携し、国内向けコスト要
求に対応する。中国メーカーとは、
タック・ジャパンと提携し、国内向け
コスト要求に対応する。中国メーカ
ーとは、タック・ジャパンと提携し、
国内向けコスト要求に対応する。



高橋裕社長

平成16年9月15日中部経済新聞



60年をふり返って

創業から60年。会社も還暦を迎えました。

昭和26年3月、私が小学校4年生10才の時です。

その私も70才になり、古希を迎えました。

中学、高校と写真に凝っていて、本当は写真の学校へ行きたいと思っていました。

高2の時、父は私に跡を継がせたいと思っていたのでしょ。

当時(昭和34年)高卒の初任給は7,000円位の時に、今でも覚えています『キヤノンL3- 58,000円』という当時としては高価なカメラを買ってくれ、それにまんまと騙され、どこの大学へも行かずズルズルと家業に入って行きました。

幸いにして日本は朝鮮戦争の特需に始まり、昭和30年代以降の人口増と高度経済成長のもと、一生懸命働いて一生懸命遊ぶという時代を謳歌しました。日本が輝いていた時代です!

戦後の物のない“苦しい・ひもい”時代も、その後国をあげて“消費は美德”と言われた時代も経験し、ピンからキリ迄体験したことは、今となっては良い思い出です。

これからの日本は人口減少と消費の低迷は避けて通れず、会社の舵取りも海図のない海原へ乗り出して行くようなものです。

社長はじめ社員全員が危機感をもち、知恵を絞って70周年80周年に向けて、更に努力することが大切だと思います。

取締役会長 高橋 裕

